

大阪・京都教区報

つ の ぶ え

発行責任者 晴久 敬
主 教 磯 高 地
主 教 大阪教区事務所
06-6621-2179
京都教区事務所
075-431-7204
通算号数
大阪485号、京都745号

祝復活日 新しい出発の時

マルコ16:1-8

主 教 アンデレ 磯 晴 久

〔讃美歌496番〕

うるわしの白百合

うるわしの白百合 ささや
きぬ昔を イエス君 (きみ)
の墓より いでましし昔を
※うるわしの白百合 ささや
きぬ昔を 百合の花 ゆりの
花 ささやきぬ昔を

春に会う花百合 夢路より
めさめて かぎりなき生命に
咲きいずる姿よ

※

冬枯れのさまより 百合し
ろき花野に いとし子を御神
は さましたもう今なお

※

皆様は、NHK連続テレビ
小説『エール』をご覧になり
ましたか。ヒロイン音の母親

4月号の紙面

追悼 岡野利治主教・大川誠司祭・クーパー司祭を偲んで
／主教コラム
聖職候補生に認可されて／連合男子会新会長就任
教会紹介／常置委員会報告
諸記念
② ③ ④ ⑤ ⑥

エス復活の出来事は、安息日
が終わり、週の初めの日に起
こったと記しています。今の
日曜日、主日のことです。女
性たちも「朝ごく早く、日が
出るとすぐ」墓に向かいます。
この人こそ救い主と信じ、
従ってきた主イエスが、十字
架上で無残な死を迎えます。
もうすべてが終わった、後は
主イエスのお墓でも守って生
きようか……。しかし、
夜は明け、新しい朝がくるの
です。女性たちが心配してい
た墓の石は取り除かれ、墓の
中に入ると白い長い衣を着た
若者がいて、女性たちに言い
ます。「驚くな。十字架につ
けられたイエスは、復活なさ
った。」そして、「イエスは
ここにはおられない。さあ、
行って弟子たちにガリラヤに
行け、そこでお会いできる、
と告げなさい。」ガリラヤは
弟子たちの出身地であり、主
イエスとの活動の出発点でし
た。原点に戻れと言われてい
るようです。

「女性たちは、震え上がり、
正気を失い……。」「一説に
はマルコ伝は、ここで終わり、
結び1と2は、文体も変わり
後代の付加と言われている
す。どうしてこのような終わ
り方をしたか。何かが起ころ
うとしています。女性たちを
はじめ皆、混乱し、中々復活
の主を信じられなかったのだ
でしょう。エルサレムの墓は
空っぽで、そこに命の主はい
ません。しかし、この混乱の
後、エルサレムから見ると、
辺境の地ガリラヤから、世界
は主イエスの復活の命・光に
満たされることになりました。
暗黒で終わることはありません。
必ず光が輝き出します。
新しい出発の時がやってきま
す。2021年復活日、皆
様と「うるわしの白百合」を
歌い、新しい出発の時である、
復活の出来事を見つめたいと
祈ります。

(大阪教区主教)

「神様とわたし」

私はこのコロナ禍の
中で気づかされた事が
あります。
それは今まで普通に
暮らしてきた事が、い
かに大切な日々であるかとい
うことです。

私はコロナの為、今までの
生活のリズムが崩れてしま
いました。軽い鬱のような気持
ちに何度も陥りました。
ウォーキングしたり、身体
を動かしたりしながらなんと
か過ごしました。辛い気持ち
をイエス様にぶつけました。
助けてくださいとお祈りす
る日が続きました。

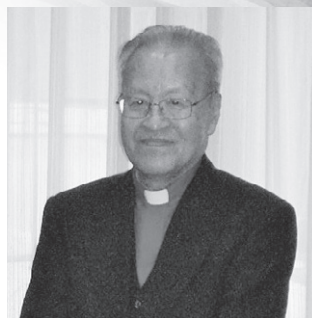
祈りは聞き入れられまし
た。
イエス様はいつも私たちを
御手の中に包んでくださり、
共に歩んでくれています。
まだまだ続く中、感謝と祈
りを忘れずに歩みたいと思
います。

(聖贖主教会 和た 多田友子)



岡野利治 主教を偲んで

1月31日逝去



師父岡野利治主教ご逝去の報に接し、驚きと悲しみの内に、師父を覚えて、魂の平安をお祈りしました。

コロナ禍の為、お見送りも出来ず、憎越ながら、この紙面をお借りして、追悼文を寄稿させて頂く次第です。

師父は1985年に奈良基督教会の牧師として赴任され、1991年に京都教区の牧者として第7代主教に就任されるまで、伝道牧会にお働き下さり、教会創立100周年記念事業では、先頭に立って、「パイプオルガン」の設置(87年)、「シオンホール」の完成(90年)へと祈り導いて下さいました。

師父が願われた「広く地域

に開かれた教会」として今日まで伝道活動が展開されている事に感謝申し上げます。

また、日曜学校においては、ご家族で熱心に活動を支援して頂きました。

そして、私は1991年3月31日に主教就任の第1号として、洗礼堅信に導かれました。

ここに至るまで、私の家族(妻、娘、息子)は既に数年前、洗礼堅信を拝領していました。が、妻の勧めで、受洗の1年前頃から教会キャンプに参加したり、礼拝に出席したりしていました。信仰の事も解らず、よそよそしく感じていた私に、寄り添い支えて下さったのが、岡野主教ご夫婦でした。また、私の息子が聖職をめざして、全寮制のキリスト教系高校に進学したのも、師父の影響が大きかったと、今以て、感謝です。いつも、柔和に顔をほころばせ、お忙しいにも関わらず、祈りの内にお話し下さり、私たちの心を穏やかにし、神様の方へと導

いてくださいました。私たちが家族にとっては信仰の父、恩人であります。

どうか、主の身許で安らかに憩われん事を、そして、ご

大川誠司祭を偲んで

おおかわ まこと



大川誠司祭のことを少しお話ししたいと思います。

僕と大川誠司祭は1977年4月、ウイリアムス神学館に同期生同室として入学しました。

彼は1969年尾鷲^{おわせ}高校を優等で卒業し、東大安田^{やすだ}講堂事件等の影響を受けながらも金沢大学工学部電子工学科に入学しました。

「金大の大川といえます。聖書を貸してただけませんか」と、金沢聖ヨハネ教会に

家族の皆様にも主の慰めと平安が有ります様にお祈り致します。

(奈良基督教会 矢萩^{やはぎ} 修二^{しゅうじ})

1月31日逝去

通い洗礼堅信を受けました。

素粒子論を専攻し卒業後はパナソニックの中央研究所に就職予定のはずが、キリスト教を究めたいとボストンの修道院にて修道生活に入りま

す。五年後栃木県小山修道院の司祭となるため帰国。北関東教区の聖職候補生として入学したのでした。

道に迷い道を求めている僕とは大きな違いのエリートに見えました。入学後二週間ほど後、突然「友のために命を捨てる事ほど大いなる愛はない」と言い、寮を出ていきま

した。小山の修道院の処理方法で北関東教区とトラブルになっ

てしまい、結果、聖職候補生の取消となり、ウイリアムス神学館も退学しました。

尾鷲に戻った彼は自ら小屋を建て、聖ブルーノ修道院と



司祭おでん

近くにいるある方が、「肩甲骨で健康な骨やとずっと思てたわ」と言われたことがありました。「んなあほな」と言いかけて踏みとどまりましたが、ほけたのだからちゃんと突っ込めたらよかったのかなあと後で思いました。例えば、「そやな、どの骨もけんこう骨やったらええのにな」では、突っ込みとしてちょっと弱いでしょうか。恥ずかしいので誰にも言ってこなかったのですが、私自身、肩甲骨と鎖骨の違いが最近までよく分かっていませんでした。

教会の礼拝の中でもいろいろあります。聖歌の歌詞を子どものころから何だかへんてこな理解をしていたという話はよく聞きますが、詩編第27編「天幕の隠れ場にかくまい、岩の上に立たせてくださる」ですが、ある式文で「かくまい」と「岩」の間に点がなく、礼拝の中でここを読みながら、「かくまい岩」でなんやったやろ」とあせりながら考えたことがあります。「ぶよはこ」する、という

名づけ、修道生活を始めました。

週に一度パン屋から食パンの耳をもらい、雨水で渴きをいやす毎日は、まさに洗礼者聖ヨハネのような修道生活でした。

二年の歳月が流れ、宮岸司祭と岡野司祭が「京都教区の牧師」になって奉仕しないかと迎えに行くことになりました。

「大川君と再度同室になって、牧会者としての歩みを頑張るなさい」と言われ、涙の再会となりました。

一年間修道院生活のことを彼は熱心に話してくれました。

1982年4月卒業し、その後40年近くにわたって牧会者として働かれましたが、その考え方や生き方、姿勢に修道者としての一面があったように思います。

一年早く退職し、尾鷲で静かに療養生活をしていました。

葬送告別は家族だけで行い、遺骨は尾鷲の海に散骨されたそうです。

岡野主教と大川司祭が同じ日に天に召されるのは単なる偶然とは思えません。神さまの不思議なお恵みのような気がします。

(司祭 門脇 光禪)

パメラアンクーパー司祭を偲んで

2月8日逝去



パメラアンクーパー司祭

は、2月8日英国ケインシャムにて逝去されました。79歳でした。1968年CMS (Church Missionary Society 英国聖公会宣教協会) から宣教師として大阪に派遣され、長らくプール学院、庄内キリスト教会、大阪教区で仕えられ、2004年には大阪教区司祭となり、2009年3

月まで牧師として働かれました。

葬送式は、2月23日出身教会の洗礼者聖ヨハネ教会にて行われました。

クーパー先生に出会い、様々な影響を受け、また信仰の道に入った方も多くおられると思います。それぞれにクーパー先生との大切な思い出があるなか、私は19歳の時に出会い現在に至るまでクーパー先生から受けたすべてが、私の信仰の歩みに関わっていることを少し分かち合わせていただきます。

クーパー先生は、神様への感謝を忘れない方でした。すべては神様の御手の中にある、その御手の中で過ごすことの美しさ、素晴らしさや楽しさを日々味わい、そのことをいつも私たちに示されました。私は旅行で何度か同室になったとき、朝、目を覚ますとクーパー先生がソファに座り、聖書を読み、静かに祈りをする姿をよく目にしました。それは本当に神様への信頼に満ちていて、とても美しい姿でした。また、神様の御業に参与することを勧める方でした。聖霊により、常にリ

フレッシュされること、神様の御業に参与するための力は必ず聖霊が与えてくださることを教えてくださいました。

「清美、今週は何があった？」と聞かれるのですが、「あなたは、今週、神様とどのような交わりをした？」と尋ねられているようにでした。神様との対話を大切にし、その後、仕事や家族の問題等に変化があったことを言葉で伝え、神様のご臨在を日常の中で見いだすことを学びました。

深く大きな愛で寄り添ってくださったクーパー先生の逝去は、悲しみと寂しさで心がいっぱいになりますが、彼女は「次にあなたはこうするの？神様から何が示されているの？」と、私たちのこれからの歩みに興味があると思います。神様と共に過ごす人生を喜び、楽しむことがクーパー先生への逝去記念のお応えになるでしょう。

(司祭 千松 清美)



変な動詞もありました。マタイによる福音書第23章24節(口語訳)「あなたがたは『ぶよはこ』しているが、これが新共同訳では『あなたがたはぶよ一匹さえも濾して除くが、らくだは飲み込んでいる』と訳され、ぶよはこ動詞はなくなつたようです。

もう一つ。他の主教さんたちが、「司祭のおでん」がどうしたこうしたとお話しておられました。うーん、司祭さんの誰かがおでんを作ったという話かなあ。いや、「おでん」ではなくて、聖職按手の意味の「オーデイン」でした。

私たち、日常的にたくさん勘違いをして生きているのだと思います。えつ、私だけ？だとしても、勘違いや間違いだらけの私を神様は拾ってくださいませんか。大丈夫でしようか。それも勘違いでしようか。

(主教 ステパノ 高地 敬)



聖職候補生に認可されて

今年の1月1日付で、聖職候補生に認可された梁と申します。認可書をお受けした時は、「本当に、私は聖職になるんだな」という思いがしました。

4月以来、入学してから勉強

強をしている中で、私自身は将来、「聖職になる」と認識はしていたものの、あまり実感できませんでした。ですが、1月に「聖職候補生認可書」をお受けした時は、そのことを実感できました。「本当に、私が聖職になるんだな」と思ったのは、「本当に聖職になるんだ」という感嘆でもありませんながら、「今までの自分のままでいて、私は大丈夫なのか」という、聖職候補生として認可されるまでの自分のことを振り返らせる質問でもありました。

今までの私はかなり内気で、また防衛的でありました。そのため、自分の周りの人々を傷つけることも多々ありました。故に、私が「本当に聖職になるんだな」と思ったの

は、私自身の「弱さ」を再確認し、またその弱さを今後、どのように乗り越えるかを考えさせることでもありました。私は今後の勉学において、そのことを追求していきたいと思っています。



(聖職候補生 梁 權模)

継続

いつも、お支えとお祈りをいただきありがとうございます。2021年1月1日付で聖職候補生の認可をいただきました。

実際にそれがどういうことなのか、私の中でまだ実感が湧いていないのが正直なところ。ただ、今の私にできることは、引き続き、ウイリアムス神学館での学びを深め

ていくこと、続けていくことだと感じております。今は分からなくとも、続けていくことによって、後から分かることもあると思います。

神学校での礼拝、勉強、生活において、さまざまな課題が与えられていることに、やりがいを感じながらも、その一方で「自分は本当に大丈夫なのだろうか」と時に不安になることもあります。けれども、むしろそのような自問自答を大切にしながら、結果や答えだけでなく、続けていくことに喜びを感じていきたいと思っています。聖歌526番の「続けてみよう 続けてゆこう あなたとわたしは 共に生きていく」がしばしば私の中で流れている今日この頃です。

これからも、皆様から支えられ、お祈りをいただいていることに感謝して、神学校での学びに励んで参ります。



(聖職候補生 藤井 和人)

大阪教区連合男子会会長 就任にあたって

大阪教区には、各教会の枠を超えた連合男子会という共同体があります。初代顧問小池俊男主教が「壮年男子教員に訴う」と、各教会男子会結成をアピールされ、結成された各教会男子会が集まって、1964年に、大阪教区連合男子会が発足し、今に至ります。57年間、11人の会長を中心として継承されてきました。

今年2月に、8年間、会長の働きをしてくださった、鈴木憲二さん(尼崎聖ステパノ教会)から代わって会長に就任させていただきました。長年にわたり、多くの諸先輩が継承されてきた大事な共同体の長に就かせていただくのは、気が引き締まる思いと、その任の大きさに不安な思いが交錯しています。

私たちの活動を少し紹介させていただきますと、司祭さまや若い世代の信徒を証し人として迎え開催する「祈りと証しの会」、その時節においてタイムリーな話題や問題をテーマに掲げて開催する「泊修養会」「二日修養会」などを通して学びの時間、親睦の機会を得て

おります。また、教区礼拝の際のご奉仕や大阪・京都教区合同で行われる「キッズフェスティバル」でのお手伝いもさせていただいています。

今般の新型コロナ禍で今までのような集まりをすることが、困難な状況で、孤独を感じることもありすが、このような逆境時でも沢山の仲間がいて、皆が繋がっている事実を連合男子会を通して伝えていきたいと思っています。この新型コロナ禍からできることを模索していきたいと思っています。

大阪・京都両教区は、これから、一緒に、更に強固な新しい教区になろうとしています。この時に、それぞれの教会、教区の枠を超えた交わりの場を一緒に作っていきましょう。

京都教区の各教会の皆さまにもご賛同をいただき、共に良き交わりができるように、私たちが発行してきた「連合男子会会報」などを通して詳しくご案内、お誘いをさせていただきます。

これからも、共に祈り、神様のお助けをいただきながら一緒に進んで参りましょう。
(大阪教区連合男子会会長 大阪聖三教会 寒河江 研司)

教会紹介 大阪編

大阪聖パウロ教会

今年、宣教136年を迎える当教会は、1885年に大阪の地で宣教を開始しました。1930年に梅田（現在の曽根崎お初天神）に当時としては、珍しい威容を誇る聖堂が建立されました。現在の教会（北区茶屋町）は1981年建立され、今年で40年を迎えました。今後の宣教として、大阪梅田有数の繁華街の中にあり、若者が集う居場所としての役割が期待されています。

(司祭 原田 佳城)



京都教区

【常置委員会報告】 3/15(定期)

1. 報告事項

▼主教報告

・休職中の司祭の復帰について、報告があった。

▼常置委員長報告

・3月6日、日本聖公会第66（臨時）総会がオンラインで開催され、北関東教区が2021年4月1日より伝道教区となることが承認された。

▼特別協働教区運営委員会

・教区合併についての「Q&A」は、3月中に完成予定である。

大阪教区

【常置委員会報告】 3/18(定期)

I. 主教報告及び諸報告

・主教の4月の予定について報告があった。

【宣教局】 3月11日の東日本

大震災記念礼拝は教区HPでライブ配信を行った。

・4月10日に、大阪・北関東・東京・京都の4教区礼拝・礼拝音楽関連委員会でオンライン礼拝と懇談会を持つ。

【財政局】 4教会から出てい

▼聖職養成委員会

・4月6日に聖職候補生との懇談会をおこなう。

2. 協議事項

・聖公会生野センター30周年実行委員に古本靖久司祭を推薦した。

・聖職候補生志願、推薦、認可、養成のプロセスに関わる常置委員会の役割について協議した。

・省エネルギーを進めるための融資制度について、次の案内には太陽光パネルの設置も含めることとした。

・2020年度教区経常費収支決算を承認した。

・2020年度教区特別財産運営委員会決算報告を承認した。

・牧会補助金申請について、一律9割を支給することとする。（常置委員会で承認した）

・聖公会生野センターへの貸付金200万円が2月に返金された。

・管区から「コロナ禍対策特別協力金」として管区費の1ヶ月分が送金された。

【OK運営委員会】 3月から各教会へ合併についての説明のための主教巡回を開始した。

・3月21日の臨時教区会で、京都教区のOK運営委員を

認した。

・教区ビル開発に関する募集要項を承認した。

【局長会議報告】 3/26

1. 総務局報告

▼3月17日に「境内建物に関する届出」（所轄官庁の変更届）を京都府文教課に提出した。

▼加悦聖三一教会旧四辻伝道所の土地売買契約が成立した。

2. 宣教局報告

▼2021年度の代持表をMLにて送付。今年度より大阪・京都の表を一本化した。

▼J's部門は4月5日（月）春のオンライン集会を行う。

於…下鴨基督教会

▼キッズフェスティバル部門は対面によらず（冊子やオンラインによるプログラム）のお知らせを印刷し、各教会およびこれまでの参加者に配布する。

3. 財政局報告

▼2月27日（土）に2021年度第1回財政局会議を行った。

▼統計報告書に関する会計報告

4. 協議事項

▼省エネ融資制度について再度協議した。

（文責…局長会議書記）

迎えて合併についての説明、質疑応答を実施する。

・コロナ関連対応について主教からイースターに向けてのメッセージが出される。

II. 協議事項及び主教諮問

・4月以降の教役者人事案について承認した。

・臨時教区会の議案、報告書を承認した。

・主教聖堂参事会による聖週礼拝の実施予定と担当者を確認した。

・台湾聖公会との第2期交流の持ち方について協議した。

・大阪教区への所属希望嘆願書の出ている外国籍の方の面談を主教が行う予定。

・石橋聖トマス教会との宗教法人合併契約書を取り交わすことを承認した。

・3月27日に川口基督教会の信徒の方5名が教区墓地へ埋葬されることを了承した。

・5月23日の聖霊降臨日の献金先を「ミヤンマー聖公会の働きのため」とする。

・大阪聖三一教会から出てくる「日本聖公会建築金融資金申請書」について了承した。

大阪教区関係教役者 5月逝去者記念聖餐式

5月12日(水) 10:30~

- 15日 司祭 ^{よむむら}米村 ^{けんじ}健治 (1979)
- 24日 伝道師 ^{おばた}小幡 ^{くのう}久能 (1961)
- 29日 司祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973)
- 30日 宣教師 メーベル・C・バックス (1984)

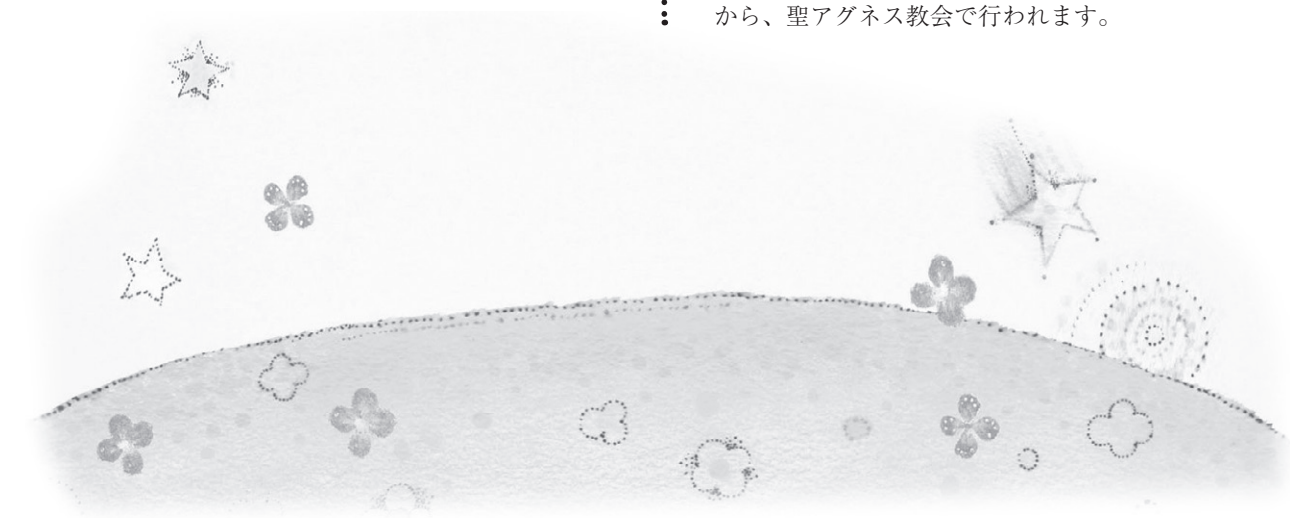
*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

京都教区関係逝去教役者 5月記念聖餐式

5月19日(水) 10:30~

- 7日 司祭 ヨハネ ^{いちすぎ}一杉 ^{つねのり}経法 (2017)
- 8日 司祭 ヨハネ ^{はせがわ}長谷川 ^{みちお}道夫 (1982)
- 14日 伝道師 マリヤ ^{まつやま}松山 ^{はつこ}初子 (1983)
- 16日 司祭 テモテ ^{いいだ}飯田 ^{すけのり}佐徳 (1974)
- 24日 執事 ^{かたやま}片山 ^{とめじろう}留次郎 (1932)
- 28日 司祭 バルナバ ^{よかた}與賀田 ^{ちあき}千秋 (1997)
- 31日 司祭 パウロ ^{おおえ}大江 ^{しんどう}真道 (2020)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分から、聖アグネス教会で行われます。



堅 信

大阪城南キリスト教会

キレネのシモン

川口基督教会

マルタ

逝 去 者

庄内キリスト教会

桃山基督教会

京都復活教会

大阪聖愛教会

八木基督教会

魂の平安をお祈りいたします。

主教巡回予定(5月)

●大阪

2日 守口聖オーガステイン教会(創立記念日)

9日 大阪聖三一教会

16日 石橋聖トマス教会

23日 堺聖テモテ教会(創立記念日)

30日 大阪聖アンデレ教会

(大阪聖三一教会と合同礼拝)

●京 都

2日 聖光教会(牧師任命式)

9日 八木基督教会

16日 東舞鶴パウロ教会

30日 聖アグネス教会

お詫びと訂正

○合併3号(3月号6面)

・大阪教区逝去記念を迎える教役者にミカエル村岡明司祭(2019年4月6日)が抜けておりました。

・京都聖マリア教会の逝去者エステル久保田恵子さんのお名前が間違っておりました。久保恵子→久保田恵子です。

・4月の教区逝去者記念聖餐式の日程が誤っておりました。

大阪教区

4月10日(水)→14日(水)

京都教区

4月17日(水)→21日(水)

関係者の方々にお詫びし、訂正いたします。(編集部)

